

令和7年度当初予算（案）の概要について お知らせします

令和7年度当初予算(案)の概要について発表します。

内 容

詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 財政課 柏山・橋本 直通086-803-1146 内線4410・4415

令和7年度当初予算(案)の概要



令和7年2月



目次

1. 当初予算(案)の特徴	1
2. 当初予算(案)の規模	2
3. 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)	
(1)歳入予算(案)の内訳	3
(2)歳出予算(案)[性質別]の内訳	4
(3)歳出予算(案)[目的別]の内訳	5
4. 健全な財政運営	
(1)基金残高・基金取崩額の推移	6
(2)市債残高の推移	7
(3)行財政改革の推進	8
(4)デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進	9
5. 主要な施策・事業	
将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	
1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり	10
2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり	16
3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり	19
将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	
4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり	22
5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり	26
6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり	29
将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	
7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	30
8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり	34
9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり	38
都市経営	
10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営	39
[お知らせ] ふるさと納税	41
[お知らせ] 企業版ふるさと納税	41
[お知らせ] 宝くじは身近なまちづくりに役立てられています	42
[お知らせ] 市民一人当たりの予算額は…	42

6. 予算編成過程の見える化

(1)当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧	43
(2)市長査定項目一覧	45
(3)主な前倒し・その他予定事業	46
(4)国の補正予算に伴う前倒し予定事業一覧	47

7. 「社会保障と税の一体改革」の充実

[計数編]

一般会計歳入・歳出	49
特別会計	50
事業会計	50
予算性質別経費	51
基金及び地方債現在高の状況	52

1 当初予算(案)の特徴

～ より誇れるまち岡山へ ～

令和7年度当初予算(案)は、街を楽しむ、産業の振興、子育て・教育の充実等の各分野の重要施策の取り組みを進めるとともに、市民に寄り添った福祉の充実や、地域の防犯力強化等による安全・安心の向上、また歴史・文化・スポーツが持つ魅力をさらに高めていくことによって、より誇れるまち岡山を目指していきます。

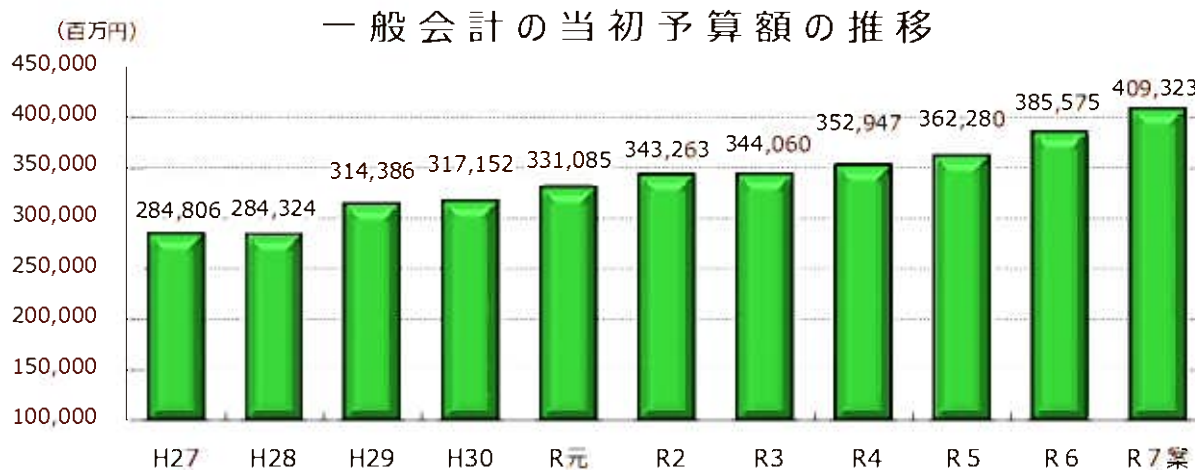
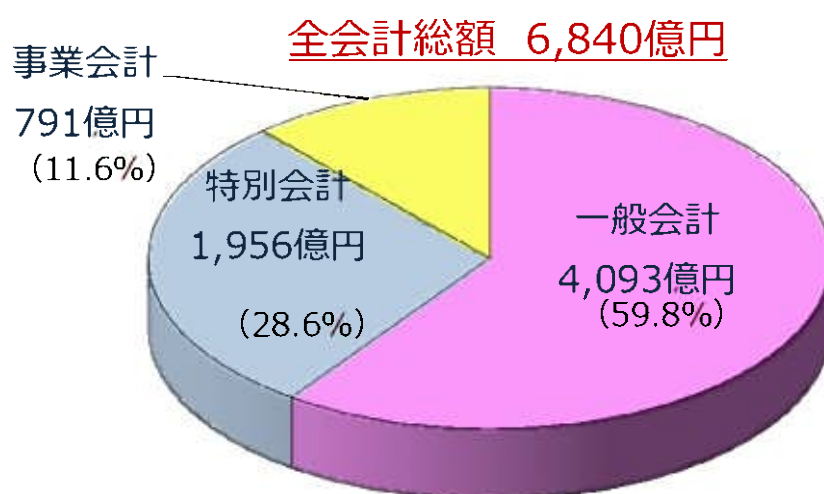
令和7年度の当初予算は過去最高額となるものの、経済の好循環を背景に市税収入が過去最高を更新する見込みであり、併せて有利な市債・基金の活用や経常的経費を見直すことにより、健全財政を維持しています。

2 当初予算(案)の規模

- 一般会計は、過去最高となる 4,093億円
(対前年度比 237億円、6.2%の増)
- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は 6,840億円
(対前年度比 237億円、3.6%の増)

(単位：百万円)

区分	令和7年度 当初予算(案)	令和6年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	409,323	385,575	23,748	6.2%
特別会計	195,596	198,019	△2,423	△1.2%
事業会計	79,121	76,684	2,437	3.2%
合計	684,040	660,278	23,762	3.6%



3 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)

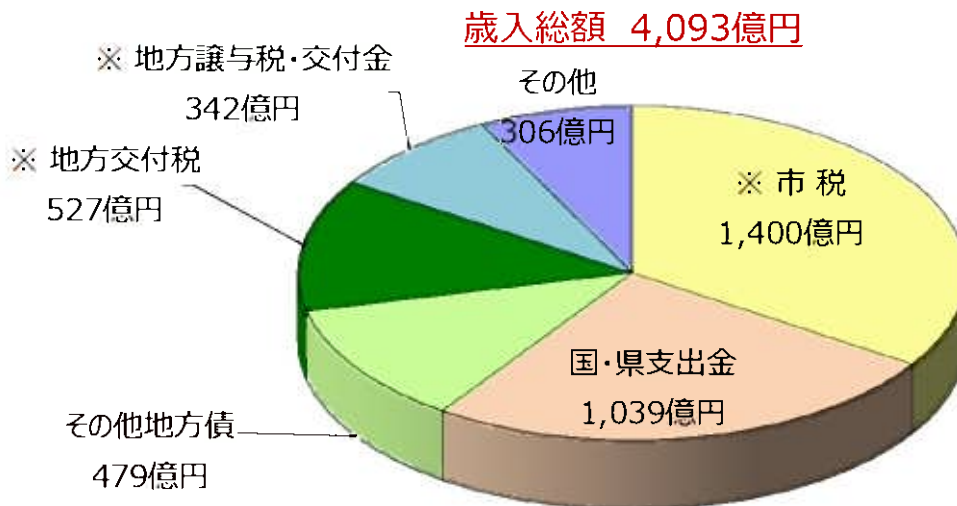
(1) 歳入予算(案)の内訳

- 一般財源合計は、対前年度比で 59億円の増(+2.6%)
 - ・市税は、雇用者所得の改善による個人市民税の増加、好調な企業業績による法人市民税の増加、大規模な倉庫の新築や地価上昇による固定資産税の増加などにより
同 77億円の増(+5.8%)
 - ・市債は、新しくできる「デジタル活用推進事業債(仮称)」の増などにより
同 13億円の増(+2.8%)
- 国・県支出金は児童手当、子どものための教育・保育給付の増などにより
同 78億円の増(+8.1%)

(単位:百万円)

区 分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増 減 額	対前年度比
※ 市 税	140,001	34.2%	132,322	34.3%	7,679	5.8%
※ 地方譲与税・交付金	34,241	8.3%	37,463	9.6%	△ 3,222	△8.6%
※ 地方交付税	52,700	12.9%	46,300	12.0%	6,400	13.8%
市 債	47,929	11.7%	46,608	12.1%	1,321	2.8%
※ うち臨時財政対策債	0	0.0%	5,000	1.3%	△ 5,000	△100.0%
※ うち上記以外	47,929	11.7%	41,608	10.8%	6,321	15.2%
国・県支出金	103,875	25.4%	96,096	24.9%	7,779	8.1%
その他	30,577	7.5%	26,786	7.0%	3,791	14.2%
※ うち財務調整基金繰入金	8,000	2.0%	7,000	1.8%	1,000	14.3%
合 計	409,323	100.0%	385,575	100.0%	23,748	6.2%

※ 一般財源 合計	226,942	55.4%	221,085	57.2%	5,857	2.6%
-----------	---------	-------	---------	-------	-------	------



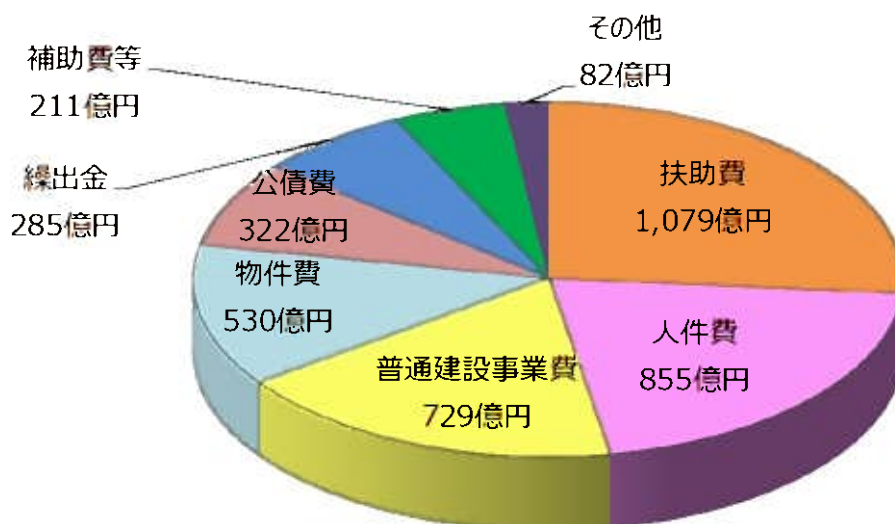
(2) 歳出予算(案)[性質別]の内訳

- 普通建設事業費は、消防指令システム更新事業費や岡山シンフォニービル改修費、学校給食センター建設費、市街地再開発事業費などにより
 対前年度比で 87億円の増(+13.5%)
- 扶助費は、子どものための教育・保育給付費や児童手当費の増加などにより
 同 73億円の増(+7.3%)
- 物件費は、内部管理業務の効率化推進に資するよう、庁内LANシステム関係費や学校給食費の燃料費等の公費負担化に伴う委託料の増加などにより
 同 38億円の増(+7.7%)
- 公債費は、元金償還額等の減少により
 同 17億円の減(△4.9%)

(単位:百万円)

区 分		令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増 減 額	対前年度比
義務的 経 費	人件費	85,541	20.9%	82,272	21.3%	3,269	4.0%
	扶助費	107,886	26.4%	100,584	26.1%	7,302	7.3%
	公債費	32,169	7.9%	33,819	8.8%	△ 1,650	△4.9%
	小 計	225,596	55.2%	216,675	56.2%	8,921	4.1%
投資的 経 費	普通建設事業費	72,901	17.8%	64,222	16.6%	8,679	13.5%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
	小 計	72,901	17.8%	64,222	16.6%	8,679	13.5%
その他の 経 費	物件費	53,059	13.0%	49,285	12.8%	3,774	7.7%
	補助費等	21,062	5.1%	18,819	4.9%	2,243	11.9%
	繰出金	28,518	7.0%	27,896	7.2%	622	2.2%
	その他	8,187	1.9%	8,678	2.3%	△ 491	△5.7%
	小 計	110,826	27.0%	104,678	27.2%	6,148	5.9%
合 計		409,323	100.0%	385,575	100.0%	23,748	6.2%

歳出総額 4,093億円



(3) 歳出予算(案)[目的別]の内訳

- 民生費は、子どものための教育・保育給付費、児童手当費、障害者自立支援関係費に係る給付費の増加などにより

対前年度比で 129億円の増(+8.4%)

- 総務費は、新庁舎整備事業費や岡山シンフォニービル改修費の増加などにより

同 73億円の増(+17.5%)

- 消防費は、新庁舎における消防指令システム整備の増加などにより

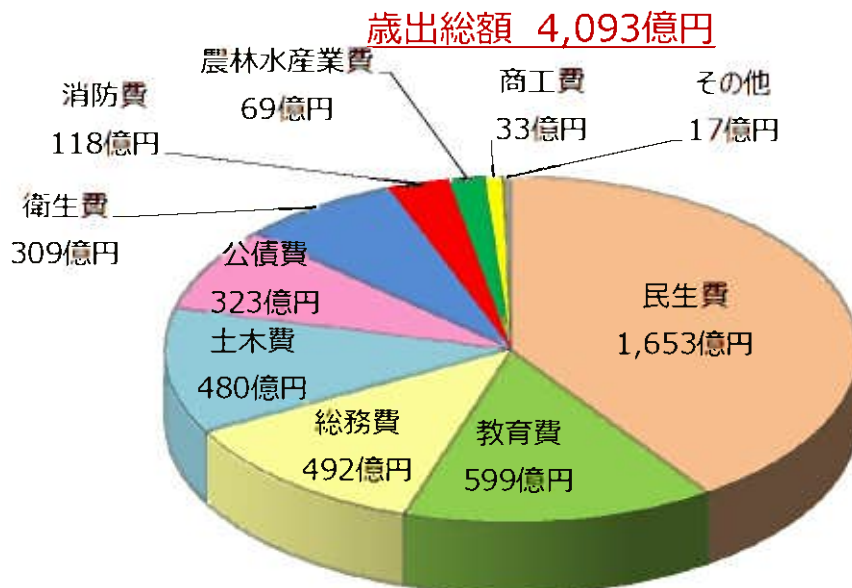
同 19億円の増(+18.9%)

- 公債費は、元金償還額等の減少により

同 16億円の減(△4.8%)

(単位:百万円)

款 別	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増 減 額	対前年度比
民生費	165,276	40.4%	152,408	39.5%	12,868	8.4%
教育費	59,937	14.6%	59,323	15.4%	614	1.0%
総務費	49,209	12.0%	41,893	10.8%	7,316	17.5%
土木費	47,952	11.7%	47,593	12.3%	359	0.8%
公債費	32,275	7.9%	33,903	8.8%	△ 1,628	△4.8%
衛生費	30,899	7.5%	28,971	7.5%	1,928	6.7%
消防費	11,849	2.9%	9,968	2.6%	1,881	18.9%
農林水産業費	6,935	1.7%	6,894	1.8%	41	0.6%
商工費	3,301	0.8%	2,978	0.8%	323	10.8%
その他	1,690	0.5%	1,644	0.5%	46	2.8%
合 計	409,323	100.0%	385,575	100.0%	23,748	6.2%



4 健全な財政運営

(1) 基金残高・基金取崩額の推移

■ 令和7年度は、子どものための教育・保育給付費や児童手当費などの扶助費の増加などにより歳出が大きく増加しますが、財政調整基金への令和5年度決算剰余金による積立額が58億円と令和6年度当初予算での同基金からの取崩額50億円より多い状況を踏まえ、令和7年度の財源調整のための基金からの取崩しは80億円としています。

令和6年度比の10億円増については、市債発行の抑制に活用し、将来負担の抑制を図っています。併せて、一般的に適正な額といわれる標準財政規模の10%から20%の基金の残高を維持し、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応へ備えています。

○当初予算編成時点の基金残高

(単位:百万円)

区 分	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初	R7 当初
財政調整基金	14,935	15,867	15,954	16,132	15,937
市債調整基金	1,546	1,576	1,613	1,673	1,746
公共施設等整備基金	12,861	11,866	11,845	11,823	11,831
3基金合計	29,342	29,309	29,412	29,628	29,514

(注) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

○当初予算編成時点の基金取崩額

(単位:百万円)

区 分	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初	R7 当初
財政調整基金	5,000	5,000	7,000	5,000	6,000
市債調整基金	0	0	0	0	0
公共施設等整備基金	2,000	3,000	2,000	2,000	2,000
3基金合計	7,000	8,000	9,000	7,000	8,000

○主な特定目的基金の取崩額

- ・ 庁舎整備基金 1,384百万円
- ・ 地域福祉基金 523百万円

(2) 市債残高の推移

■ 一般会計の市債残高のうち、

臨時財政対策債等の残高は、1,486億円で前年度より140億円減少しています。これは、財政収支の不足額を補填する臨時財政対策債の発行額が近年減少していることなどによるものです。

通常債残高(※1)は、2,167億円で前年度より241億円増加しています。新庁舎整備や学校特別教室への空調整備、幼保一体化施設整備、老朽化施設の長寿命化など、喫緊の課題への対応を着実に進める一方で、緊急防災・減災事業債や合併推進債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することで、交付税算入がない市債と比較して、212億円の縮減(※2)を図るなど、将来の財政負担を抑制しています。

※1通常債・・・元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた実質的な市債のこと。

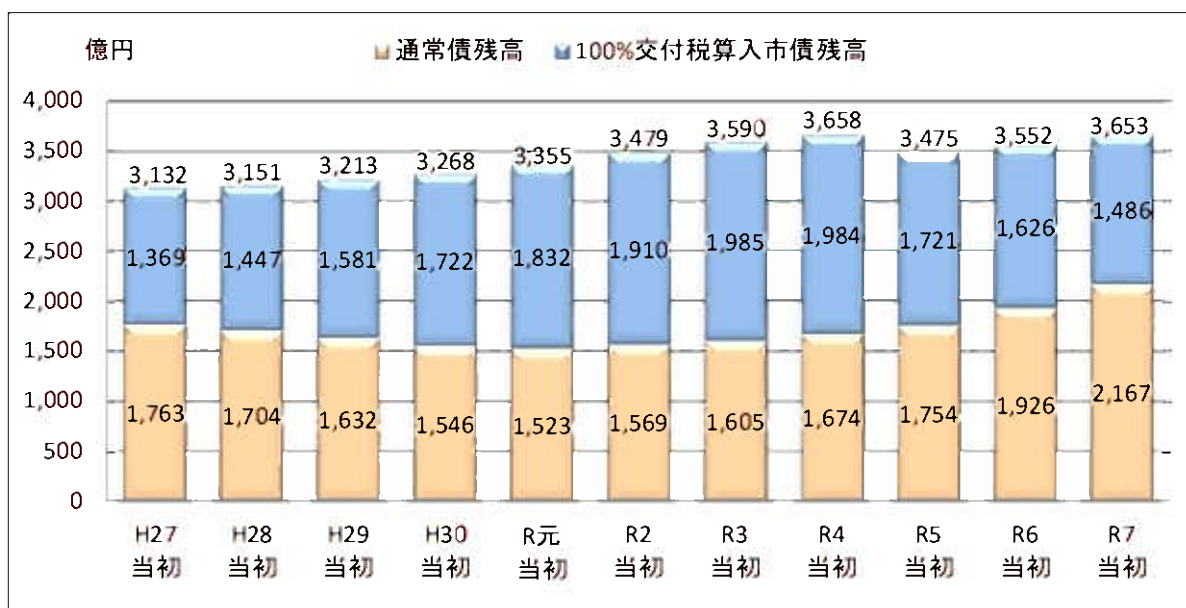
※2縮減額・・・交付税算入率の高い有利な市債を活用したことによる後年度の交付税算入額

(単位:百万円)

区分	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初	R7 当初	増減額 R7-R6
元金償還金	(19,024)	(18,018)	(18,759)	(18,668)	(17,975)	(△693)
	32,079	31,843	32,655	31,572	29,629	△1,943
借入額	51,172	43,546	34,725	46,608	47,929	1,321
年度末残高	(160,477)	(167,387)	(175,325)	(192,638)	(216,736)	(24,098)
	358,993	365,827	347,450	355,156	365,292	10,136

(注1) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注2) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。



(3) 行財政改革の推進

- 市民福祉の向上と活力ある都市づくりを進めるため、健全で持続可能な財政運営を行うとともに、行政のスマート化や公民連携などの行政改革にも取り組んでいます。

健全で持続可能な財政運営

- 決算額を踏まえた経常的経費の予算額の見直し
- 歳入の確保
 - ・ふるさと納税の推進 等

令和6年度
経常的経費の予算額の見直し額
約9億17百万円

公共施設等のマネジメントの推進

- 複合化・多機能化等による施設配置の最適化など、公共施設の維持・管理等の効率化
- 安全・安心で快適な市民サービスの確保
 - ・施設の計画的な長寿命化や市有未利用地の売却等

令和6年度 未利用地売却額
(令和6年12月末現在)
約5億78百万円

行政のスマート化

行政手続きのオンライン化やデジタル技術の積極的な活用等を通じて、市民サービスの向上と業務の効率化を図っていきます。

- 文書の整理・電子化・廃棄などについて、未来の紙を生まない仕組みづくりを推進
- 市税や各種料金の口座振替申し込みのインターネット受付を導入
- AIやRPAなどのデジタル技術の積極的活用

※1 ※2

令和5年度末時点で4割強の課が活用
年間約24,000時間の業務削減



ペーパーレス化を進めた新庁舎モデルオフィス

※1 AI (アーティフィシャルインテリジェンス) : 人工知能のこと
※2 RPA (ロボティックプロセスオートメーション) : 人間が行っていた作業をソフトウェアのロボットで自動化すること

組織力の向上

- 政策実現のためのメリハリのある職員の再配置
- 働き方改革により職員のワークライフバランスを実現

公民連携と透明性の高い市政運営

- PPP・PFIの手法を活用した公民連携の推進
- 岡山市の取組をトコトン分かりやすく情報発信する
プロジェクト「わかるかわる岡山市」の実施



ワカル君とカワル先生が発信するスペシャル動画

(4) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

地域経済の発展と市民一人ひとりの幸せを実現していくため、①地域社会のDX、②市民サービスの向上、③行政事務の効率化の3つの施策分野により、住みやすく躍動感のあるまちづくりを実現していきます。

デジタル化関連事業予算 約34億15百万円

① 地域社会のDX

デジタル技術の活用で岡山の歴史や地域の魅力を発信していくほか、農業、産業等の分野でも幅広く活用して安心して快適な生活を実現します。

◆企業のDX推進事業

(IoT・AI等先端技術導入枠、企業変革枠) 68百万円

◆VR・ARコンテンツを活用した観光誘客

(岡山城、造山古墳、万富東大寺瓦窯跡) 69百万円

◆スマート農業の推進

(露地作物の育成状況の見える化) 6百万円

◆3D都市モデルを活用した市街地の可視化

79百万円
など



② 市民サービスの向上

市民の利便性向上につながる手続きのオンライン化とともに、決済のキャッシュレス化等による市民サービスの向上を推進していきます。

◆スマート窓口の北区役所への一部導入及び

他区役所等への導入準備 36百万円

◆オンライン予約可能な公共施設の拡大及び

利用料等のキャッシュレス化 14百万円

◆中央図書館へのICタグ等の導入による

セルフ貸出機の設置 88百万円

◆消防団アプリ導入による消防団員の

出勤状況把握及び活動報告等の電子化 3百万円

など



③ 行政事務の効率化

全庁的にBPR(業務改革)を実施してAI・RPAの導入を推進するほか、基幹システムの標準化、デジタル人材の育成を進めます。

◆業務改革推進事業

14百万円

◆情報システムの標準化

15億61百万円

◆デジタル人材育成研修

2百万円

など



5 主要な施策・事業

将来都市像 I

中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

● 企業の新規事業創出強化パッケージ 15百万円(15百万円)

企業の新たな「事業の柱」の創出を伴走支援することにより、市内産業の持続的な発展を目指します。

- ・新規事業創出基礎支援
- ・オープンイノベーション活用支援



● 中小企業デジタル化推進事業 106百万円(103百万円)

拡充

中小企業の課題である「人手不足」「生産性向上」「競争力強化」に対応するため、IoT・AI等先端技術の導入支援等を行い、デジタル化やDXを促進します。

- ・DX推進事業(IoT・AI等先端技術導入枠、企業変革枠【新規】)
- ・IT利活用支援事業
- ・クラウドサービス等導入支援事業
- ・デジタル化検討促進・マッチング事業



● 中小企業事業成長力強化支援事業 1億49百万円(1億49百万円)

拡充

中小企業の生産性向上・競争力強化を図るため、省人・省力化に加えて新分野への進出に資する前向きな設備投資枠を新設します。また、円滑な事業承継を実現するため、支援人材の育成、潜在的ニーズの発掘、成約までの伴走支援に取り組みます。

- ・中小企業設備投資等支援事業(新分野進出枠を新設)【拡充】
- ・事業承継支援事業



● 販路開拓支援事業 22百万円(22百万円)

拡充



中小企業の市場開拓及び販路拡張を図るため、展示会等への出店経費の補助と、マーケティング活動の専門家の派遣を実施します。

- ・販路拡張助成事業費補助金
- ・マーケティング活動の支援【新規】

拡充

● スタートアップ支援事業 1億28百万円(87百万円)



岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップが創出され、成長が促進される環境づくりを、ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)で取り組みます。

- ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」を運営
- ・スタートアップ企業特化型のシンポジウムの実施【新規】
- ・GovTech Challenge OKAYAMAの実施 等

拡充

● 創業促進事業 17百万円(17百万円)

市内における創業の促進による産業活性化を図ることを目的に、創業相談や助成とあわせ、創業時における融資利率を優遇する融資制度を新設し、創業支援に取り組みます。

- ・開業ワンストップサービス事業
- ・創業促進助成金【拡充】
- ・創業資金融資【拡充】



拡充

● 企業立地推進事業 8億26百万円(8億26百万円)

地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、製造工場、物流施設、本社・中四国支店、IT・デジタルコンテンツ産業等の誘致や、市内既存工場の再投資・拠点強化を促進します。

- ・製造工場、研究所、物流施設に関する補助金の雇用要件の撤廃【拡充】
- ・物流施設誘致促進奨励金の補助内容の見直し【拡充】



● 雇用対策等事業 23百万円(22百万円)

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。

- ・働きやすい職場づくりに取り組む企業情報冊子とWebサイトを作成
- ・新規学卒者等を対象とした合同企業説明会を開催
- ・外国人留学生と市内企業のマッチングイベント 等



● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり



1億44百万円(92百万円)

まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、官民連携による公共空間活用の推進、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組めます。

- ・歩いて楽しいまちなかの空間創出
- ・緑のボリュームアップ
- ・旭川かわまちづくり
- ・西川魅力賑わい創出

● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業

拡充

7億30百万円(1億57百万円)

まちなかの魅力向上や賑わい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を進めます。岡山駅前広場への路面電車の乗り入れは、利便性向上や中心市街地での回遊性向上につながります。

- ・地下街補強工事、軌道整備
- ・公共交通案内所、長庇、一般車ゾーン整備
- ・バス上屋、修景ゾーン整備【拡充】等



● 商店街等の魅力向上・活性化支援事業 60百万円(60百万円)

拡充

商店街や商業集積エリアの魅力向上・活性化のため、賑わいづくり等への補助と併せて、未活用店舗対策や新たな担い手の創出・育成を支援します。

- ・商店街等の魅力向上・活性化に必要な経費について補助
- ・商店街空き店舗・未活用店舗の支援【拡充】
- ・商業者育成塾
- ・商店街応援協力隊(地域おこし協力隊)への支援



● 市街地再開発事業の促進 56億63百万円(2億81百万円)

駐車場等の低未利用地が多く分散している中心市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を進めるため、市街地再開発事業によって民間活力を後押しし、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

- ・再開発事業対象地区
駅前町一丁目2番3番4番地区 ほか4地区



● 活力ある農業の振興 1億80百万円(68百万円)

新規就農者や意欲ある農業者への支援を行うとともに、農産物のブランド化を進め、持続可能で儲かる農業に向けた基盤づくりや競争力の強化を推進します。

- ・きめ細やかな新規就農サポート体制による支援
- ・経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援
- ・農産物のブランド化に向けた取組
- ・環境保全型農業の推進



● 有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)

拡充

1億15百万円(72百万円)

有害鳥獣被害軽減のため、地域ぐるみでの効果的な対策を目指した専門家等による支援を実施するとともに、侵入防止柵設置助成、捕獲柵(檻)設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する助成を行い、総合的な対策を図ります。

- ・野生鳥獣被害実態調査の実施
- ・捕獲活動や被害防止対策への助成【拡充】等

● 間伐材等搬出促進事業 6百万円(6百万円)

新規

森林がもつ多面的な機能を持続的にいかす森林整備の取組みに寄与するため、間伐材等の搬出に係る費用を支援します。

- ・市内の森林において、スギ・ヒノキの間伐材等を市場へ搬出する運搬経費を補助

● 地域の資源をいかした観光振興事業 5億82百万円(2億88百万円)

拡充

「文化財と観光の融合」をキーワードに地域の資源をいかし、ソフト・ハード事業を実施することで、観光誘客を図るとともに、観光客や市民に本市の歴史遺産などの価値や魅力を伝えていきます。

- ・「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業【拡充】
- ・歴史遺産等を活用した観光誘客事業【拡充】
- ・日本遺産活用推進事業
- ・各エリアにおける観光施設整備等
(西大寺観音院歴史観光案内板等)



亀山城跡



西大寺観音院

● 日本遺産活用推進事業(再掲) 1億44百万円(19百万円)

日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」及び日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成文化財等を活用して地域の活性化、観光誘客等を図ります。

- ・日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進事業
- ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」推進事業
- ・史跡造山古墳群保存整備事業



造山古墳



● インバウンド誘客促進事業 79百万円(79百万円)

拡充

市内や近県で大型イベントが開催される2025年は、インバウンドの更なる増加が見込まれることから、ターゲットを絞った情報発信により、引き続き誘客促進に取り組みます。

- ・外国人観光客受入体制の充実
- ・外国人団体旅行客向け宿泊助成
- ・広域連携(西のゴールデンルートアライアンス等)によるインバウンド誘客促進【拡充】等



● 万博を契機とした誘客促進事業(再掲) 35百万円(35百万円)

新規

大阪・関西万博の来場者を岡山へ誘客する絶好の機会と捉え、情報発信を強化し観光誘客につなげます。

- ・大阪・関西万博への出展
(岡山県内の自治体等との共同、
西のゴールデンルートアライアンス、ORA外食パビリオン)
- ・関西空港などにパンフレットを設置するなど、
訪日外国人旅行者に向けた情報を発信



● 移住定住促進事業 92百万円(82百万円)

移住・定住希望者に対し、ニーズに沿ったきめ細やかな情報の提供体制や移住相談・支援、移住後の支援体制の充実を図ります。

県や連携中枢都市圏域の市町と連携し、本市への移住・定住を促進します。

- ・移住支援に関する情報発信
- ・おかやまぐらし相談センターの運営
- ・東京圏からの移住費補助 等



2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

● 地域の未来づくり推進事業 1億19百万円(1百万円)

地域住民をはじめ、NPO法人や企業等の多様な主体による、地域活力の創出や生活サービスの維持を目指し、持続可能な「コミュニティビジネス」の創出など、様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

- ・専門家やアドバイザーの派遣による活動計画づくりへの支援や担い手の育成
- ・地域の未来づくり推進事業補助金 等



● 地域おこし協力隊事業 62百万円(62百万円)

人口減少・高齢化の進行により、地域活動を担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から新たな人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。



● 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業 5億76百万円(3億2百万円)

拡充

人口減少や高齢化が進行するなか、公共交通の必要性は高くなっており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっていることから、自動車を運転できない高齢者や障害者の公共交通利用促進のため運賃割引を行います。

- ・犬島離島航路を割引対象に追加【拡充】



● 地域公共交通利便増進事業 1億82百万円(1億15百万円)

「岡山市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、バス路線の再編や利用環境の改善に取り組み、公共交通の利用促進と経営の安定化を図ります。

- ・支線バスの運行支援
- ・乗継拠点の整備
- ・乗継割引実施のためのICカードシステム整備
- ・デジタルサイネージの整備 等



● 交通結節機能強化(上道駅) 2億12百万円(1億66百万円)

乗降客数が多い駅にもかかわらず、駅前広場やエレベーターが未整備である駅について、駅前広場を整備することやエレベーターを設置することで利便性及び安全性を向上させ、交通結節機能の強化を図っていくことで、人や公共交通中心の社会への移行を目指します。

- ・南口駅前広場整備
- ・駅構内のバリアフリー施設詳細設計への補助



● 新たな生活交通の確保事業 27百万円(27百万円)

人口減少や高齢化が進展するなか、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取組を支援します。

- ・本格運行(8地区) 山南地域朝日地区、幸島地区 ほか
- ・試験運行(1地区) 津高地域横井地区



● 自転車先進都市の推進 1億87百万円(1億48百万円)

「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、誰もが自転車を“安全”で“快適”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、各種自転車施策を推進します。

- ・自転車通行空間整備事業
- ・コミュニティサイクル事業
- ・サイクリングルート事業
- ・自転車ルール・マナー関係事業
- ・備中箕島駅前自転車等駐車場(仮称)整備



● 道路ネットワークの充実・強化 30億37百万円(1億60百万円)



中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消・交通混雑の緩和に資する外環状線・中環状線の整備や、企業立地・物流等の経済活動、観光コンベンション等の広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化を引き続き重点的に取り組みます。

- ・(都)下中野平井線
- ・(県)岡山赤穂線 等

● 緑のボリュームアップ(再掲) 52百万円(24百万円)

歩きたくなるまちなかづくりを推進するため、街路樹の質、ボリュームを向上させる取組を実施します。

街路樹再生プログラム(第2期)における街路樹再生に向けた取組

- ・中心市街地の街路樹再生についての取組の継続
- ・西大寺駅、北長瀬駅周辺地区における街路樹の管理や更新等の新規取組



● 快適な住環境整備 10億84百万円(1億61百万円)



「岡山市住生活基本計画」に基づき、人口減少や少子高齢化に伴う居住ニーズの変化を把握しつつ、市営住宅の適切な管理の推進など住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保に取り組むとともに、総合的な空家対策の推進等、既存住宅ストックの活用促進及び良質な住宅ストックの形成を図ります。

- ・空家等適正管理支援事業
- ・管理不全空家等への対策強化 等

● 高島市営住宅再生事業 20百万円(10百万円)

新規

令和5年3月に改定した岡山市営住宅等長寿命化計画において、建替と位置付けた高島市営住宅について、基本計画の策定を行います。

- ・令和7年度から令和9年度で計画を策定
- ・住居棟の配置や事業手法などを検討



3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業(再掲)

1億73百万円(1億19百万円)

「歴史を伝える城、集う城」のコンセプトを体現する事業を実施し、観光誘客や岡山城一带の賑わい創出を図るとともに、戦国宇喜多家の人物に焦点を当てた事業を展開することで、市民の誇りを醸成し、魅力を発信します。

また、城郭の歴史的環境整備や石垣破損箇所等の保存修理を行い、史跡本来の姿を復元整備していきます。

- ・岡山城一帯でイベント等を開催し、「集う城」を体現
- ・戦国宇喜多家の大河ドラマ誘致に向け、プロモーションやイベントを実施【拡充】
- ・かつての岡山城をVRで再現【新規】
- ・史跡岡山城跡保存整備事業
- ・岡山城内下馬門・太鼓櫓の復元整備に向けた調査



拡充

● 歴史遺産等を活用した観光誘客事業(再掲) 83百万円(19百万円)

岡山市の歴史・文化遺産の魅力及びその価値やエピソードなどを観光的な視点を踏まえてわかりやすく発信し、市民の誇りを醸成するとともに観光誘客を図ります。

- ・造山古墳前後に築造されたとされる大型古墳9基の調査【新規】
- ・史跡万富東大寺瓦窯跡の調査とAR制作【新規】
- ・新たな倭国論の情報発信(造山古墳VR制作等)【拡充】
- ・歴史観光Webサイト「レキタビ」を活用した情報発信



● 岡山城西の丸周辺広場整備事業 34百万円(12百万円)

まちなかの魅力と賑わい、回遊性の向上を図るため、岡山城西の丸周辺に広場を整備します。

- ・岡山市民会館跡地のオープンスペースの設計
- ・便益施設等を整備運営する民間事業者の募集要項等を作成



● 文学によるまちづくり推進事業 49百万円(46百万円)

ユネスコ創造都市ネットワーク(文学分野)への加盟を通じて、国内外の都市との交流を盛んにし、先人の作品・歴史風土に目を向けるとともに創造活動の活発化を促し、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を推進します。



- ・令和8年2月に国際会議を開催【新規】
- ・市民の郷土の文化に対する誇りや愛着の醸成
- ・国内外への情報発信
- ・坪田謙治文学賞 等



文学創造都市 おかやま

● 岡山芸術交流2025 1億64百万円(1億3百万円)

岡山城・岡山後楽園を中心とした歴史文化ゾーンにおいて、民間と連携し世界からも注目される最先端の現代美術作品を見る機会を提供し、国内外からの誘客による都市の魅力向上、まちの賑わいを創出します。

会期:令和7年9月26日(金)~11月24日(月)



©Okayama Art Summit 2025
Left: Photo by Andrea Rossetti



● 岡山シンフォニービル改修事業 19億7百万円(2億61百万円)

岡山シンフォニービルは供用開始後33年が経過しており、今後30年の供用を見据えた長寿命化改修や設備更新を実施し、魅力・快適性の向上を図ります。

- ・令和7年度~令和8年度に工事を実施し、特定天井や舞台機構、音響設備などを更新
- ・令和9年度にリニューアルオープン



● おかやまマラソン 1億8百万円(1億8百万円)



「おかやまマラソン2025」を、市民・県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。また、大会の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることにより、地域の活性化を図ります。

● 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催 59百万円(59百万円)

令和7年度に中国5県で開催される全国高等学校総合体育大会のうち、岡山市内で開催されるバスケットボール、バレーボール(女子)、柔道競技大会を通じて、市民のスポーツへの関心を高める機会とするとともに、岡山の魅力を発信し、地域の活性化を図ります。

バスケットボール 令和7年7月26日(土)～8月1日(金)
バレーボール(女子) 令和7年8月5日(火)～8月9日(土)
柔道 令和7年8月13日(水)～8月17日(日)



各競技大会ポスター原画最優秀賞受賞作品

● トップチーム支援事業 14百万円(14百万円)

岡山を拠点として活動するトップチームが広く市民に浸透し、市民の誇りとなるよう、各種支援を実施します。

- ・岡山市民デーの開催
- ・小学校での給食交流企画
- ・まちなかでの広報企画 等



4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

● 子育て環境の施設整備推進事業 51億85百万円(12億80百万円)

幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

- ・市立認定こども園整備(8園)
- ・市立施設の民営化に伴う施設整備(5園)
- ・耐震や老朽化等の対策を行う私立施設への補助(3園)



● 保育士確保対策 4億1百万円(2億86百万円)

拡充



安定的な受け皿の確保及び保育の質の向上のため、保育士の確保を推進します。

- ・民間保育士等処遇改善事業
- ・保育士等宿舍借り上げ支援事業
- ・保育支援者配置助成事業
- ・保育士資格取得支援事業【拡充】
- ・奨学金返済支援事業

● 放課後児童健全育成事業 57億65百万円(19億83百万円)

拡充

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

- ・市立の放課後児童クラブ(67クラブ)の運営
- ・地域主体で実施する児童クラブの質の改善の推進
- ・児童クラブ施設の量の確保
- ・民間事業者への補助【拡充】 等



● 産後ケア事業 50百万円(13百万円)

産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児を行えるよう、医療機関や助産所、居宅において、産後の母子に休養の機会を提供し、心身のケアや育児サポート等を行います。



● 妊婦のための支援給付 5億20百万円(4百万円)

妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴走型の相談支援と一体的に行う経済的支援として、「妊婦のための支援給付金」を支給します。

- ・対象者 市内に住民票のある方で、妊娠の届出をした方
- ・支給額 妊婦1人あたり 5万円
妊娠している子ども1人あたり 5万円



● 不妊治療費助成事業 50百万円(25百万円)

新規

不妊に悩む方々が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることなく、安心して不妊治療を受けられるよう、不妊治療費の一部を助成します。

- ・対象者 健康保険適用の生殖補助医療を実施している方
- ・助成額 生殖補助医療のために支払った健康保険適用後の自己負担額1回の治療につき、10万円(上限)



● 性と健康の相談センター 8百万円(4百万円)

新規

予期せぬ妊娠をはじめとして妊娠・出産、性の悩みに関する相談先として、アウトリーチを含めた365日対応可能な相談体制を整備します。

- ・専門職による相談窓口を365日開設
- ・若年妊婦やハイリスク妊婦に対する相談支援、アウトリーチの実施
- ・不妊治療、不育症の相談支援
- ・生殖や妊娠・出産、不妊治療等に係る正しい知識等の普及啓発



● 子ども医療費助成事業 36億9百万円(31億9百万円)

子どもの医療費の全部又は一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。

- ・乳幼児、小学生の通院及び入院医療費を全額助成(自己負担 無料)
- ・中学生、高校生の通院医療費を一部助成(自己負担 1割)
- ・中学生、高校生の入院医療費を全額助成(自己負担 無料)

※高校生とは、在学の有無に関わらず18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者



拡充

● 困難を抱える子どもとその家庭への支援 10億円(8億93百万円)

子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を越えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

- ・子どもの学習サポート事業
- ・子どもの居場所づくり促進事業
- ・岡山市奨学金給付事業
- ・養育費履行確保支援事業
- ・就学援助費等支給事業
- ・社会的養護自立支援拠点事業
- ・ファミリーサポート事業【拡充】



● 児童虐待防止の推進 50百万円(26百万円)

児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進します。

- ・SNS活用相談支援事業
- ・虐待通告等電話相談受付事業
- ・子育て世帯訪問支援事業
- ・子育て家庭見守りサポート体制構築事業
- ・法的対応機能強化事業 等



新規

● 里親養育包括支援(フォスタリング)事業 16百万円(8百万円)

社会的養護が必要な児童の家庭的養育を進めていくため、里親の普及啓発などで民間の資源を活用できるよう、里親に関する業務の一部について民間委託を実施します。

- ・里親制度等普及促進・リクルート事業
- ・里親研修・トレーニング等事業



拡充

● 障害児保育対策事業 5億19百万円(4億97百万円)

障害児の受入れのための体制を整備する保育園等に支援を行うことで、障害児の保育環境及び処遇の向上を図ります。

- ・障害児2人に対して、保育士1人を配置するために必要な経費を補助【拡充】

拡充

● 障害児保護事業(児童発達支援・放課後等デイサービス)

61億96百万円(15億49百万円)

障害児に対する児童発達支援や放課後等デイサービスを通じて、こどもの最善の利益の保障と健全な育成を図ります。

- ・児童発達支援
日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与などを支援
- ・放課後等デイサービス
授業の終了後などに、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進などを支援
- ・医療的ケア児などの最大支給日数を23日に拡充【拡充】



拡充

● 医療的ケア児等の受入体制の整備 53百万円(33百万円)

保育園・認定こども園・幼稚園において、医療的ケアを必要とするこどもの受入ができる体制を整備します。

- ・市立園において、医療的ケア実施体制を確保【拡充】
- ・医療的ケア児保育支援事業補助金

拡充

● 女性が輝くまちづくり事業 16百万円(7百万円)

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

- ・デジタルスキルを習得するためのオンライン講座等の実施【拡充】
- ・女性起業家の育成支援に向けたワークショップ等の実施【新規】
- ・女性活躍に向けたセミナーの開催
- ・困難を抱える女性への支援 等



● 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 7百万円(7百万円)

大学生の人口比率が高い本市の強みをいかして、大学生等が、新たな商品やサービス等の開発を目指すモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組を支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを目指します。

- ・活動経費補助
- ・中間報告会や活動報告会の実施



5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

● 魅力ある授業づくり推進事業 2億56百万円(2億35百万円)

学力調査や質問調査を効果的に活用して、学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、第2期岡山市教育大綱で目指す「5つの力」を育成します。

- ・学びづくり推進プロジェクト
- ・英語教育推進事業



● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

4億81百万円(4億38百万円)

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、支援を必要とする子どもやその保護者に対して、相談や援助を行います。

- ・生徒指導関係事業
- ・特別支援教育支援員配置事業
- ・不登校児童生徒支援員配置事業
- ・スクールカウンセラー配置事業
- ・一人ひとりに寄り添う居場所づくり推進事業



● 部活動地域展開モデル事業 20百万円(13百万円)

将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことのできる機会を確保します。また、学校における働き方改革も推進します。



- ・部活動指導員配置
- ・部活動地域展開モデル事業

● 学校給食費管理運営事業 39億14百万円(3億42百万円)

拡充

教職員が本来の専門性をいかし、子ども一人ひとりと向き合う時間等を確保するため、教育委員会が学校給食費を集金し学校給食を運営します。

- ・保護者負担の軽減のため、燃料費等を公費負担とします。【拡充】

● 学校特別教室空調設備整備事業 19億67百万円(0百万円)

近年の異常気象・異常高温への対策として、児童生徒及び教職員の健康面に配慮するとともに、より授業に集中できる学習環境及び職場環境の改善を目的に、小中学校の特別教室へ空調設備を整備します。

- ・令和7年の夏前までに供用開始予定

● 中学校体育館空調設備整備事業 10百万円(0百万円)

新規

教育活動の円滑化、熱中症予防の促進を図り、さらに避難所の環境改善にも資することから、中学校の体育館へ空調設備を整備します。

- ・令和9年の夏前までの供用開始を目指します。



● 学校給食施設再整備事業 16億92百万円(1億80百万円)

将来にわたって安全で安心な学校給食を安定的・継続的に提供するため、学校給食施設の再整備を推進します。

- ・新岡山学校給食センター(仮称)整備事業
- ・建部学校給食センター安全対策事業
- ・学校給食施設再整備計画策定

● GIGAスクール構想によるICT活用支援事業

4億47百万円(4億37百万円)



GIGAスクール構想で学習者用端末を配備している学校に対して、ICTの更なる活用を促進するための運用支援や人的支援を行います。

- ・デジタルAIドリルと授業支援ソフトの活用
- ・学校のICT活用をサポートする体制の強化

● 岡山市教育センター(仮称)整備事業 8億45百万円(7億54百万円)

子どもたちの成長を支えるために、教職員の資質向上や産学官連携による研究推進などさまざまな機能を有する新しい教育センターの整備を図ります。



● 夜間中学運営事業 8百万円(7百万円)

令和7年度から「夜間中学」を岡山後楽館中学校に設置し、義務教育を受けることができなかった方に対する学ぶ機会の保障に取り組みます。



● 岡山中央中学校区公民館(仮称)整備事業 4億30百万円(69百万円)

旭公民館が老朽化し、未耐震のため、岡山中央中学校武道場との複合化による新たな公民館整備を実施します。

・令和8年3月開館予定



6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

R7算額 ()書きは一般財源

拡充

● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業

83百万円(83百万円)

持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの理解促進と新たな実践行動につなぐため、SDGsの学びの場や機会を設けます。また、ESDの啓発活動や活動団体の支援によりESD活動の拡大と質の向上に取り組む、ESDを推進することでSDGsの達成に貢献します。

- ・SDGs未来都市推進事業
- ・岡山ESDプロジェクト推進事業
- ・グローバルRCE会議の開催【新規】
開催日時 令和7年10月21日～23日



● 区のまちづくりの推進 14百万円(14百万円)

身近なまちづくりを推進するために、区民と行政が協働しながら、地域課題の解決に取り組めます。また、それぞれの区の地域資源や特色をいかした魅力発信を行います。

- ・北区 北区の魅力・情報発信事業
公民館を活用した講座等の実施による防犯等対策事業
- ・中区 地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業
中区の魅力発見・発信事業
- ・東区 東区の魅力発信・地域連携事業
- ・南区 南区地域防災力強化事業



7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 健康寿命延伸事業 79百万円(28百万円)

運動、栄養・食生活、社会参加の改善・促進など、健康的な生活習慣の普及・定着を通して、市民の健康寿命の延伸を目指します。

- ・OKAYAMAハレ活プロジェクト【拡充】
- ・ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト



● 带状疱疹ワクチン接種事業 2億35百万円(1億27百万円)

新規

高齢者の重症化予防やQOLの低下を防ぐため、接種に要する負担額を軽減し、必要な方が接種できる環境を整備します。

(対象者)

- ・65歳の方
- ・60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方
- ・70歳以上の5歳刻みの年齢の方(5年間の経過措置)

● フレイル対策事業 7百万円(1百万円)

高齢者が要介護状態に陥ることの予防を目的に、薬局など市民の身近な場所でフレイル健康チェックを実施し、介護予防の取組につなげます。

- ・薬局など市民の身近な場所でフレイル健康チェックの機会の提供
- ・フレイル予防に関する周知・啓発 等



● 終活支援事業 2百万円(2百万円)

新規

高齢者自身と周囲の支援者に人生の最終段階に向けた備えをしてもらうため、終活に関する支援を実施します。

- ・エンディングノートの作成、配布
- ・終活の必要性を周知

拡充

● 支え合い活動の推進 4百万円(1百万円)

外出に課題を抱える高齢者が社会とのつながりを保てるよう、住民互助による移動支援の活動を推進します。

- ・移動支援を実施するボランティア団体に対し、費用を助成
ボランティアが移動支援に使用する車両にかかる自動車保険料
運転に不安のあるボランティアが運転適性診断を受ける費用 等
- ・助成団体を4団体から10団体に拡充【拡充】



拡充

● すこやか住宅リフォーム助成事業 36百万円(36百万円)

高齢者や重度身体障害者の居宅生活における自立助長及び介助者の負担軽減を図るため、居住する住宅を改修する場合に費用の一部を助成します。

- ・身体機能が低下した高齢者や重度身体障害者が、
自宅において暮らしやすい生活を送れるように
住宅を改修する費用の一部を助成。
- ・助成率を3/5等から、
介護保険制度の住宅改修負担割合に合わせ、
助成率9/10～7/10に拡充【拡充】
- ・助成上限額を60万円から70万円に引き上げ【拡充】



● 在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進

33百万円(7百万円)

在宅介護に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

- ・介護機器貸与モデル事業
- ・高齢者活躍推進事業
- ・ケアマネインセンティブ事業
- ・訪問介護インセンティブ事業 等



高齢者活躍推進事業の様子

● 在宅医療・介護連携推進事業 7百万円(1百万円)

今後、高齢者等が増えることにより、需要の増加が見込まれる在宅医療の推進や在宅看取り等の普及啓発を医療・介護関係者と協働で進めます。

- ・在宅医療・介護の地域連携推進事業
- ・地域別在宅医療・介護普及啓発事業
- ・ICT情報連携ツール活用推進事業



● 救急安心センター事業(#7119) 13百万円(9百万円)

市民が急な病気やケガをしたときに、医療機関の受診の可否などに迷った際、看護師等の専門家が電話で相談事業を行います。

・救急安心電話相談窓口運營業務

〈開始時期〉 令和7年10月1日

〈受付時間〉 平日 午後7時から翌朝8時
土曜日 午後6時から翌朝8時
日祝年末年始 午前8時から翌朝8時



● 認知症伴走型支援事業 6百万円(3百万円)

拡充

認知症の進行による状況の変化やそれに悩む人とその家族に寄り添い、地域の人々の生活を応援する伴走型の相談支援の取組を推進します。

・伴走型支援拠点 現在2か所(中区、南区) 追加で2か所



● 障害者就労支援事業 39百万円(34百万円)

障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者とその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるように、一般就労と職場定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。

- ・障害者を雇用する企業の開拓
- ・働く障害者のための交流拠点事業
- ・発注企業と受注事業所をつなぐお仕事マッチングサイトの利用 等



● 地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲)

拡充

18億94百万円(4億42百万円)

複雑化・複合化した課題を抱えた世帯に対して、市の関係課・相談機関が連動して支援を行う総合相談支援体制づくりに加えて、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することで、地域共生社会のさらなる推進を図ります。

- ・包括的相談支援事業【拡充】
- ・参加支援事業
- ・地域づくりに向けた支援事業【拡充】
- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ・多機関協働事業
- ・支援プランの作成



● 戦後80年記念事業 15百万円(15百万円)

令和7年度は戦後80年を迎える節目の年であり、次の世代へ戦争の記憶・記録を継承するための記念事業を実施します。

- ・岡山市戦没者追悼式
- ・戦後80年記念催事【新規】
- ・戦災の記録と写真展【拡充】
- ・平和関連連続講座【拡充】
- ・戦災記録事業【拡充】
- ・学校との連携事業(岡山っ子平和メッセージ)【新規】



● 生活困窮者等自立支援事業(再掲) 3億71百万円(1億19百万円)

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人を対象に自立に向けた支援を行います。

- ・生活困窮者自立相談支援事業【拡充】
- ・住居確保給付金の支給【拡充】
- ・子どもの学習支援事業(通所型、訪問・遠隔型) 等

● 野犬対策事業 45百万円(35百万円)

野犬の捕獲促進に伴う収容頭数の増加に対応するため、収容から譲渡までの体制を強化し、「殺処分ゼロ」を継続します。

クラウドファンディング型ふるさと納税を通じて、取組の周知を図るとともに、協力を求めます。

- ・野犬等の捕獲促進事業及び一時収容施設の継続
- ・収容犬の飼養保管から譲渡までの管理費及び事業委託費
- ・収容から譲渡までの短期化を図るための犬の人馴れ訓練事業
- ・ボランティア支援事業 等

クラウドファンディングをはじめます！
ご協力よろしくお願ひします！



8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

R7予算額() 書きは一般財源

新規

● 安全・安心なまちづくりの取組 37百万円(37百万円)

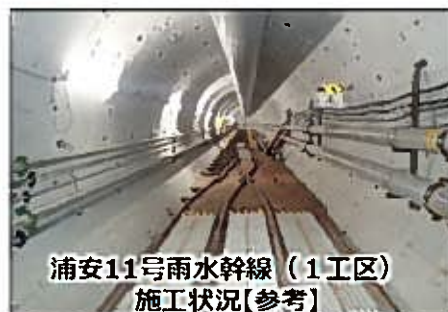
犯罪や交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進するため、学校内における児童生徒の安全を確保し、子どもの教育環境を守るため、全ての市立学校に防犯カメラを設置します。

- ・全市立学校に防犯カメラ等を設置

● 下水道・河川等による浸水対策事業 16億9百万円(1億63百万円)

平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づき、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。

- ・浦安11号幹線(2工区)雨水管築造工事
- ・津島排水区万成ポンプ場等の設計
- ・山崎排水機場の建設工事
- ・既存ストックの活用、機能保全強化
- ・雨水流出抑制施設設置、雨水貯留タンク設置、止水板設置の補助 等



浦安11号雨水幹線(1工区)
施工状況【参考】

● 新庁舎整備事業 127億40百万円(0百万円)



このイメージパースは実施設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

本庁舎は建設から50年以上が経過し、老朽化が進むとともに、耐震基準も満たしていません。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、さらなる行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。
(令和8年度供用開始予定)

● 新庁舎周辺施設整備事業 15百万円(7百万円)

新庁舎の周辺施設として、大供公園・広場・駐車場を一体的に整備し、大供周辺に相応しい魅力あるまちづくりに寄与することを目指します。

- ・新庁舎周辺施設整備アドバイザー業務

● 道路施設の長寿命化事業 22億72百万円(3億円)

道路施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える状況を鑑み、定期点検を実施し作成した個別施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・補修を行うことで、費用を低減・平準化するとともに、道路施設の長寿命化を図ります。

- ・幹線舗装補修(延べ11.4km)
- ・橋梁長寿命化(定期点検:2,151橋、補修設計:19橋、橋梁補修:61橋)

【対策前】



【対策後】



● 用水路等転落防止対策事業 1億10百万円(1億10百万円)

用水路等への転落事故がまだ発生しているため、引き続き危険箇所に対する安全対策を進めます。

【対策前】



【対策後】



拡充

● 住宅・建築物耐震改修等補助事業 2億48百万円(50百万円)

住宅や建築物の耐震化のため、建物所有者が耐震診断、補強計画、耐震改修等を行う費用を補助します。

- ・木造住宅一般耐震診断等の補助【拡充】
- ・要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修への補助 等

● 水道施設・管路耐震化等更新事業 98億23百万円(51億2百万円)

市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新及び災害対策を推進し、安定供給の継続を図ります。

- ・激甚化・頻発化する災害に備えた水道施設・管路の強靱化
- ・水道施設・管路の計画的更新



● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業

27億66百万円(1億5百万円)

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止等を未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

- ・平井排水センター、金岡ポンプ場、岡東ポンプ場の設備更新及び耐震化
- ・緊急輸送道路等のマンホールの浮上防止対策工事
- ・農業集落排水処理施設を公共下水道など近隣の処理区へ統廃合 等



平井排水センター

● 地域防災力強化事業 7億4百万円(48百万円)

自主防災組織を中心とした地域防災活動への支援のほか、被災想定を踏まえた備蓄物資保管場所を確保し、地域の防災力強化を図ります。

- ・自主防災組織等育成事業
- ・備蓄倉庫等整備事業(北区、中区)



● 緊急・防災情報システム整備事業 13億5百万円(8百万円)

新庁舎整備に併せて緊急・防災情報システムを高度化、多重化し、避難情報発令の迅速化を図ることで、市民の早期避難につなげます。

- ・緊急情報伝達システムの整備
- ・防災情報通信ネットワークシステムの整備
- ・新庁舎災害対策本部の映像・音響システムの整備



● 消防指令システム更新事業 22億73百万円(1百万円)

新庁舎整備に併せて消防指令システムを更新整備し、頻発する大規模自然災害等に対して円滑かつ効果的に対応できるように消防通信基盤の充実強化を図ります。

- ・消防指令システム更新(令和8年度完工)



● 消防救急デジタル無線更新事業 77百万円(1百万円)

市民の生命・身体・財産を守る消防活動において無くてはならない消防救急デジタル無線について、経年劣化に伴う通信障害を回避し、安定稼働させるため更新を行います。

- ・消防救急デジタル無線更新(令和8年度完工)
- ・多重無線ネットワークルート変更に伴う改修(令和8年度完工)



● アプリを活用した消防団DX推進事業 3百万円(3百万円)

新規

災害活動支援業務等における消防団員等の業務負担軽減、効率化を図るため、消防団関係業務にアプリを導入します。

- ・消防団員の出勤状況の把握
- ・消防職団員の報告書等の作成及び確認作業等の負担軽減
- ・消防団員への情報共有の迅速化



9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

R7予算額 ()書きは一般財源

● 地球温暖化対策事業 29億89百万円(19億20百万円)

脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換等に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図ります。

- ・廃棄物発電電力活用事業
- ・公共施設省エネルギー化事業
- ・太陽光発電設備整備事業
- ・スマートエネルギー導入促進事業補助金 等

再エネ100宣言

RE Action



このイメージパースは実施設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

● ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業

23億52百万円(5億61百万円)

老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン類等の削減対策やサーマルリサイクルの促進等を図るため、2市1町の可燃ごみを処理する施設を岡南環境センター敷地に整備し、20年間運営することで、安全・安心で安定的なごみ処理を実現します。

- ・玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となって可燃ごみ広域処理施設を建設
- ・広域処理施設建設中における岡山市の可燃ごみの一部を市外処理



広域処理施設イメージ

10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

R7予算額 ()書きは一般財源

● スマート窓口事業 50百万円(50百万円)

新庁舎開庁に向けて、「行かない」「書かない」「待たない」のコンセプトのもと、市役所での手続きをサポートし、手間の削減・待ち時間の削減に取り組めます。

- ・「行かない」の実現のため、オンライン申請システム手続きの拡大
- ・「書かない」「待たない」の実現のため、窓口業務の改革・改善



● 業務改革推進事業 14百万円(14百万円)

岡山市第六次総合計画後期中期計画に掲げるBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)を本格化させ、全庁業務量調査で抽出された課題のある業務のプロセスを1から見直すことにより、職員負担の軽減、人為的ミス削減、住民サービスの維持・向上等を目指します。

- ・定型的な作業が多い等、課題のある業務を可視化
- ・デジタル技術等による課題解決のモデルを検討

● 公共施設予約システムの一元化とキャッシュレス決済

14百万円(14百万円)

公共施設利用者の利便性向上のため、施設の空き状況等が確認できるシステムを導入し、予約・利用手続きの一元化を図ります。また、施設の利用料について、キャッシュレス決済を導入します。

- ・オンライン予約システムの導入
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・対象公共施設の拡充



● 外部専門人材活用事業 11百万円(11百万円)

企業等の最前線で活躍する高い専門性を持った人材を登用し、既存の行政の考え方や枠組みに捉われない柔軟な発想やアイデアを活用することで、多様化・複雑化する行政課題の解決を図ります。

● 情報発信力強化事業 25百万円(25百万円)

市が進めるまちづくりの目標や課題を市民に理解してもらえよう、市の施策をわかりやすく発信していきます。

- ・動画を活用した情報発信
- ・市公式LINEのセグメント配信強化



● 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

199億円(86億46百万円)

人口減少・少子高齢化という課題に対応し、自立した活力ある地域社会を創生するため、「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標の下、具体的施策の着実な推進を図ります。

4つの基本目標及び具体的施策

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| ■ <u>岡山市の強みをいかし、安定した雇用と活力を創出する</u> | 22億96百万円(21億6百万円) |
| ・新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興
・歴史・文化資源等をいかした観光誘客の促進
・活力ある農業の振興
・地域の活力を担う人材の育成・確保 | |
| ■ <u>岡山市への新しいひとの流れをつくる</u> | 99百万円(89百万円) |
| ・移住・定住の促進
・新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進
・地元大学等との連携
・地方とのつながりの構築 | |
| ■ <u>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</u> | 122億83百万円(37億25百万円) |
| ・保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消
・結婚・出産・子育て支援
・ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進 | |
| ■ <u>安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する</u> | 52億22百万円(27億26百万円) |
| ・コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり
・地域連携の推進
・健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源をいかした地域づくり
・安心に暮らせる地域づくり
・地域の課題解決のための持続可能な取組 | |

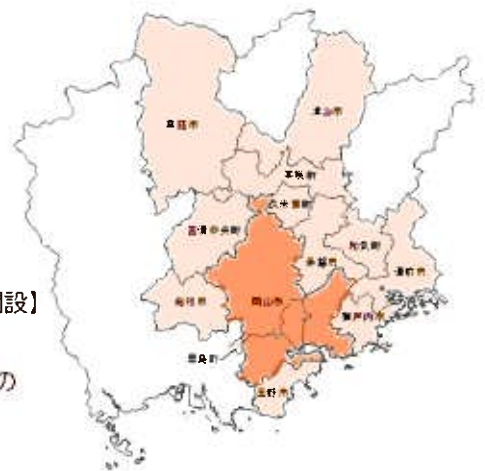
● 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進

53億35百万円(10億59百万円)

人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に掲げる連携取組の着実な推進を図ります。

令和7年度の連携事業(例)

- 圏域内周遊に向けた観光資源発信
・歴史を感じる憩いの広場として岡山城西の丸周辺広場を整備するとともに、石山公園を再整備
- JRの利用促進と駅機能強化
・圏域内外との人やモノの円滑な交流促進に向けた結節機能強化を図るため、岡山駅前広場を整備
- 夜間中学設置の検討・準備・運営
・様々な理由により義務教育を受けることができなかった圏域住民に対し、就学の機会を確保【令和7年4月に岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級を開設】
- 風水害対応力の向上
・圏域住民等が風水害を模擬体験できる水難救助訓練施設風水害体験エリアの運用開始(令和7年5月)
- 出会い・結婚サポート
・圏域内の独身男女を対象とした婚活イベントやセミナーを実施
- 公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築(広域連携による火葬場の建設・運営)
・瀬戸内市営火葬場の運用開始(令和7年4月)
- 救急安心センター事業(#7119)
・住民からの医療機関への受診の必要性の可否等の相談を受ける、電話相談事業(#7119)を実施



お知らせ

ふるさと納税（岡山市まちづくり人づくり応援寄附金）

○岡山市では市へご寄附いただいた方に、市の特産品等をお届けしています。
○寄附金は「地域経済」「女性・子育て」「防災・安全・安心」などに活用しています。

人気の返礼品



白桃

岡山を代表する白桃をお届けします。白桃ならではのなめらかな口当たり、甘さが特徴です。



マスカット

甘くさわやかな香りがひろがり、その高貴な味わいは果物王国岡山を象徴する特産品です。



豚まん

トロトロの角煮や甘いキャベツ、うずらの卵がまるまる1個入った具だくさん手作り豚まんです。



ふるさと納税 岡山市 東条トラパレクーポン

地ビール

これらは返礼品の一例です。
皆様方からのご寄附をお待ちしています！

岡山市へのご寄附はこちら <https://www.city.okayama.jp/kurashi/000004111.html>

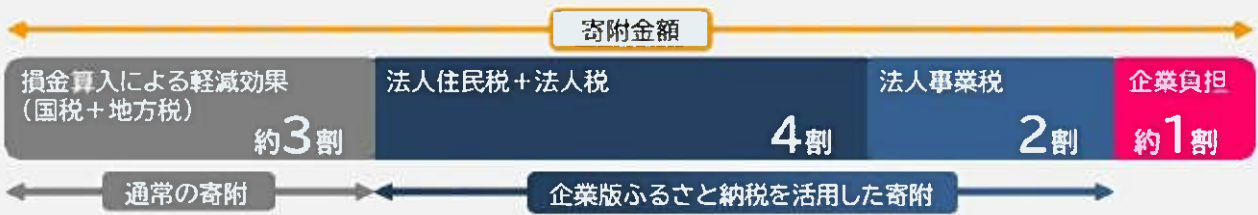
※岡山市内にお住まいの方への返礼品贈呈は行っておりません。ご注意ください。 お問い合わせ先：税制課 086-803-1166

お知らせ

企業版ふるさと納税 ～岡山市の地方創生にご協力をお願いします～

【企業版ふるさと納税とは？】

- ・本社が岡山市外にある企業が、対象となる事業に寄附を行うと、税額が控除される制度です。
- ・1事業10万円から寄附が可能で、寄附金額の最大約9割が法人関係税から軽減されます。



ご寄附いただいた企業の皆様は、SDGs等に積極的に取り組む企業として様々な場面でご紹介させていただきます。

イベントポスターやチラシ



協賛：株式会社〇〇

区役所・岡山駅地下等デジタルサイネージ掲示



協賛：株式会社〇〇

感謝状贈呈式



岡山市HP <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000016573.html>

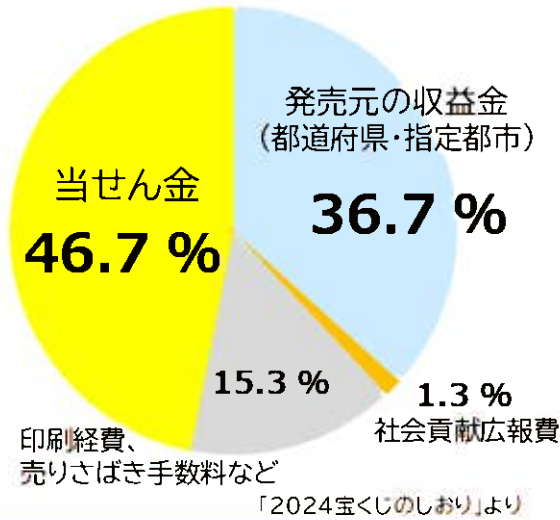
お問い合わせ先：政策企画課 086-803-1043



お知らせ

宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

ご存じですか？宝くじ一枚の中身



宝くじは、岡山県内で買ってね！



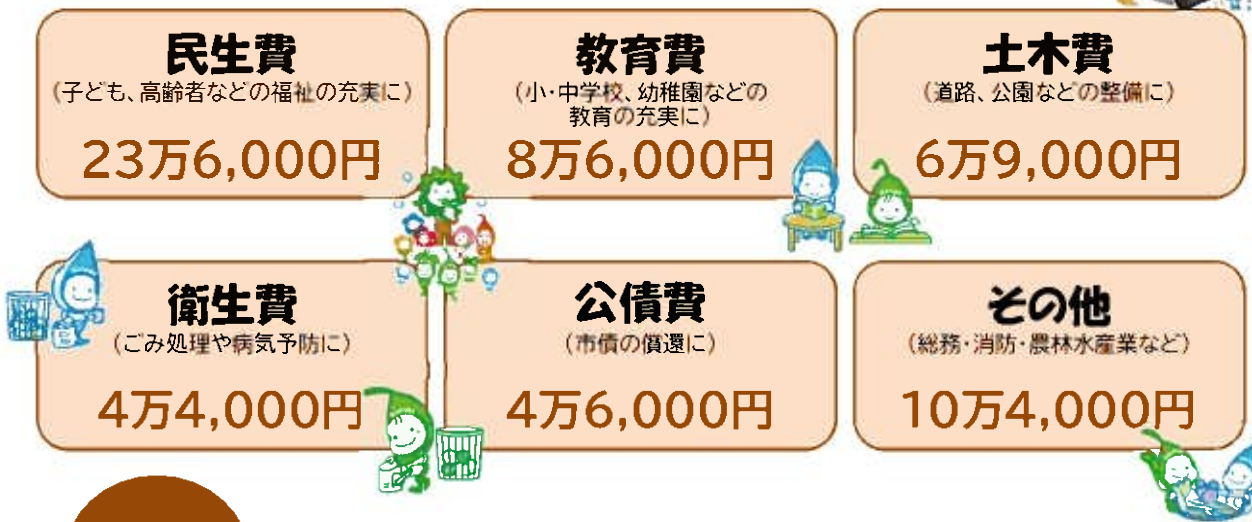
岡山県内で販売された宝くじの収益金は、岡山県及び岡山市の収入になります。収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や子育て支援など、市民のみなさまのくらしに役立てられています。



お知らせ

市民一人当たりの予算額は・・・

一般会計予算(案)を市民 約70万人で割ると



市民一人
当たり

合計 58万5,000円

市民一人当たりの市税
20万円

6 予算編成過程の見える化

(1) 当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧

令和7年1月16日に公表した当初予算要求額に対する当初予算額(案)は以下のとおりです。

I 会計別予算額

(単位:百万円)

区 分	令和7年度 当初要求額 (A)	令和7年度 当初予算額(案) (B)	令和6年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
一 般 会 計	426,016	409,323	385,575	23,748	△ 16,693
特 別 会 計	196,528	195,596	198,019	△ 2,423	△ 932
事 業 会 計	80,016	79,121	76,684	2,437	△ 895
合 計	702,560	684,040	660,278	23,762	△ 18,520

II 一般会計(款別)予算額

(単位:百万円)

区 分	令和7年度 当初要求額 (A)	令和7年度 当初予算額(案) (B)	令和6年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
議 会 費	1,219	1,218	1,142	76	△ 1
総 務 費	50,059	49,209	41,893	7,316	△ 850
民 生 費	171,805	165,276	152,408	12,868	△ 6,529
衛 生 費	30,954	30,899	28,971	1,928	△ 55
労 働 費	277	272	302	△ 30	△ 5
農林水産業費	6,997	6,935	6,894	41	△ 62
商 工 費	3,292	3,301	2,978	323	9
土 木 費	53,466	47,952	47,593	359	△ 5,514
消 防 費	11,868	11,849	9,968	1,881	△ 19
教 育 費	62,704	59,937	59,323	614	△ 2,767
災 害 復 旧 費	0	0	0	0	0
公 債 費	33,175	32,275	33,903	△ 1,628	△ 900
予 備 費	200	200	200	0	0
合 計	426,016	409,323	385,575	23,748	△ 16,693

Ⅲ 特別会計・事業会計予算額

ア 特別会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和7年度 当初要求額 (A)	令和7年度 当初予算額(案) (B)	令和6年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
国民健康保険費	64,574	64,570	67,148	△ 2,578	△ 4
用品調達費	43	43	46	△ 3	0
災害遺児教育年金事業費	15	14	15	△ 1	△ 1
公共用地取得事業費	144	144	144	0	0
財産区費	11	10	8	2	△ 1
学童校外事故共済事業費	12	12	13	△ 1	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	268	268	277	△ 9	0
介護保険費	72,027	72,001	70,257	1,744	△ 26
後期高齢者医療費	13,003	13,003	13,086	△ 83	0
公債費	44,481	43,581	45,108	△ 1,527	△ 900
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,950	1,950	1,917	33	0
合 計	196,528	195,596	198,019	△ 2,423	△ 932

○主な増減(対前年当初予算比)

国民健康保険費	保険給付費の減 △2,702
公債費	一般会計普通会計債元金償還金の減 △1,424
介護保険費	保険給付費の増 1,451

イ 事業会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和7年度 当初要求額 (A)	令和7年度 当初予算額(案) (B)	令和6年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
病院事業会計	207	207	199	8	0
水道事業会計	28,331	27,789	26,262	1,527	△ 542
工業用水道事業会計	373	373	436	△ 63	0
市場事業会計	1,162	1,162	1,226	△ 64	0
下水道事業会計	49,943	49,590	48,561	1,029	△ 353
合 計	80,016	79,121	76,684	2,437	△ 895

○主な増減(対前年当初予算比)

水道事業会計	水道施設・管路耐震化等更新事業の増 1,561
下水道事業会計	下水道事業の運営経費の増 1,228

※事務事業別の要求・査定状況は、別紙2のとおり

(2) 市長査定項目一覧

予算要求段階以降、直面する課題への対応をふまえ、市長の最終的な判断により予算化したものは以下のとおりです。

(単位：千円)

市長査定項目	市長査定の内容	令和6年度 当初予算額	一次 内示額	市長 査定額	最終 予算額
コネスコ文学都市国際会議の開催	コネスコ創造都市ネットワーク「文学分野」への加盟を契機に、岡山市内での文学関係の活動の活発化と国内外へのPRのため、海外の加盟都市を招聘した国際会議を令和8年2月に開催します。	0	—	21,500	21,500
民間の放課後児童クラブへの補助の拡充	待機児童解消に向けた対策として、民間放課後児童クラブの運営に係る補助内容を拡充します。	68,300	329,300	161,800	491,100
私立保育園・認定こども園の障害児受入れ体制の支援の拡充	障害児受入れに必要な保育士体制の確保に係る私立保育園等への補助内容を拡充します。	423,000	464,600	54,400	519,000
すこやか住宅リフォーム助成金の拡充	介護を必要とする方の在宅生活の支援として、住宅リフォームへの補助内容を拡充します。	28,555	28,000	7,800	35,800
带状疱疹ワクチン接種の負担額の軽減	高齢者の重症化予防、QOLの低下を防ぐため、带状疱疹ワクチンの負担額を軽減し、必要な方が接種できる環境を整備します。	0	—	234,776	234,776
#7119（救急安心センター）の開設	市民の方が急な病気・ケガとなった際の救急受診の要否等について、医師・看護師等が電話相談を受ける「#7119」を開設します。	0	—	13,000	13,000
グローバルRCE国際会議の開催	今年1月に岡山市が国連大学グローバルRCE会議の開催都市に選定されたことを受け、岡山市のESD活動の成果や今後の方向性等について話し合う国際会議を令和7年10月に開催します。	0	—	50,000	50,000
中小企業の新分野進出への支援	市内中小企業の新分野への進出に係る支援として、当該設備投資等への補助制度を新設します。	0	—	30,000	30,000
創業促進融資制度の新設	創業を促進するため、最初の1年間、利率を0%とする融資制度を新設し、経営が不安定な創業当初の資金繰りを支援します。	1,900	3,000	7,000	10,000
新たな倭国論「古墳時代における古備と大和の二領政治」の検証・研究と地域の魅力アップ	各地域の大型古墳を調査し、VRで往時の造山古墳を再現するとともに、出土した盾形埴輪等を復元し、観光誘客を図ります。	0	—	49,400	49,400

(単位：千円)

市長査定項目	市長査定の内容	令和6年度 当初予算額	一次 内示額	市長 査定額	最終 予算額
岡山駅前広場（バス上屋及び修景ゾーン）の整備	岡山の玄関口である岡山駅前広場について、バス待合の上屋及び修景ゾーン整備を実施します。	0	—	25,000	25,000
大島航路の高齢者・障害者運賃割引	ハレカハーフ（高齢者・障害者運賃割引事業）の対象に大島航路を追加し、高齢の島民及び渡航者等に係る運賃を支援します。	0	—	1,200	1,200
全市立学校に防犯カメラを設置	学校の安全を確保し、子どもの教育環境を守るため、全ての市立学校に防犯カメラを設置します。	0	—	37,200	37,200
学校における暑さ対策（中学校体育館、給食調理場）	・夏期間中においても授業・部活動等で利用の高い中学校体育館について、令和9年夏前の稼働に向けエアコンを整備します。 ・給食調理場の熱中症対策として移動式スポットクーラーを追加で配備します。	0	—	29,404	29,404
学校給食に係る保護者負担の軽減	子育て世代支援として、学校給食における燃料費等その他経費について、令和7年度から公費で負担します。	0	—	234,000	234,000
合計		521,755	824,900	956,480	1,781,380

※令和6年度当初予算額及び一次内示額は、市長査定による拡充前の現行制度での額

(3) 主な前倒し・その他予定事業

以下の事業については、令和6年度の国の補正予算による財源措置の積極的な対応等として、令和6年度2月補正予算での対応を予定しています。

多目的屋内施設（アリーナ）整備事業	アリーナ整備は、地元トップチームが活動を継続していくための環境整備のほか、市内外に大きな経済効果を生み出すとともに岡山への誇りや愛着を育む等の効果が期待されます。 アリーナがもたらす様々な効果やその必要性を広く周知し、実現に向けた機運の醸成を図るために必要な経費の計上を予定しています。
安全・安心なまちづくりの取組の推進	地域防犯力の向上と安全安心なまちづくりの推進のため、町内会等による防犯カメラ・防犯灯設置を国等の補助金を活用しながら、重点的に実施出来るよう、設置に要する支援経費の拡充を予定しています。

(4) 国の補正予算に伴う前倒し予定事業一覧

以下の事業については、令和6年度の国の補正予算による財源措置の積極的な対応として、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しを予定しています。

【重点支援交付金関係（物価高騰対策）】

項目	内容等
安全・安心なまちづくりの取組の推進	町内会等による防犯カメラ・防犯灯設置支援等に要する経費
地域の困りごと解決に向けた支援	地域活動の負担軽減を目的とした物品への購入費補助等に要する経費
定額減税補足給付金（不足額給付）	令和6年度の定額減税補足給付金の支給額に不足が生じた方に対する不足額等の追加給付
放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブに係るICT化の推進及び職場の魅力発信のための周知・広報に要する経費
インバウンドの誘客促進	外国人個人旅行客の誘客促進に要する経費
学校給食費の保護者負担軽減支援	米価格高騰に伴う、学校給食費の保護者負担を軽減する経費

【国土強靱化関係等】

戸籍振り仮名法改正への対応	国の法改正に伴う戸籍への振り仮名登録に要する経費
体育施設管理事業	瀬戸町総合運動公園テニスコート照明のLED化改修等に要する経費
マンホールトイレの整備	避難所となる小学校等にマンホールトイレを整備
障害者就労支援事業	障害者就労施設の経営改善に向けてアドバイザー等を派遣する経費
児童福祉施設等のICT化導入補助	保育園等への登園管理システムの導入等のICT化の推進に要する経費
地域介護・福祉空間整備等助成	高齢者施設等が実施する防災・減災対策に対する助成金
国補道路新設改良事業	(主) 佐伯長船線、岡山赤穂線の整備に要する経費や橋梁及び横断歩道橋の長寿命化に要する経費
交付金道路新設改良事業	吉備スマートIC等の整備に要する経費
岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ及び駅前広場の整備に要する経費
地域公共交通利便増進事業	「岡山市地域公共交通利便増進実施計画」に基づくバス路線の再編や利用環境の改善に要する経費
自転車通行空間整備事業	自転車通行空間ネットワークの整備に要する経費
公共街路事業	(都) 下中野平井線の整備に要する経費
学校施設長寿命化改修事業	学校施設の長寿命化等に要する経費
【下水道事業会計】 下水道施設耐震化事業	下水管や浄化センターにおける耐震化に要する経費
【下水道事業会計】 災害用マンホールトイレ整備事業	災害用マンホールトイレの整備に要する経費
【下水道事業会計】 ウォーターPPP導入検討業務	下水道施設の耐震対策に必要なウォーターPPP導入の検討に要する経費

<前倒し等予定事業費> 109億円（うち一般会計107億円）

7 「社会保障と税の一体改革」の充実

平成26年度からの消費税率の引上げに伴う増収分は、国・地方とも全て社会保障の充実と安定化に使われます。

区 分	H26.3.31以前	H26.4.1以降	引上げ率	R元.10.1以降	引上げ率
消 費 税	0.04	0.063	0.023	0.078	0.038
地方消費税	0.01	0.017	0.007	0.022	0.012
合 計	0.05	0.08	0.03	0.1	0.05

〔引上げ率はいずれもH26.3.31以前との比較〕

国・地方増収見込額 約14.1兆円

〔注〕軽減税率制度による減収分は考慮していない。

●岡山市における増収額及びその使途

○ 増 収 額

区 分	予算額	うち消費税率引上げによる増収分
地方消費税交付金	189億80百万円	101億48百万円

※なお、消費税率10%への引上げに伴う交付金の増収は、R2年度以降に繰入されています。

○ 使 途

(単位:百万円)

区 分	事 業 費	財 源	
		特定財源	一般財源
社会福祉費	25,290	7,988	17,302
老人福祉費	753	605	148
児童福祉費	57,896	19,598	38,298
生活保護費	21,095	5,147	15,948
社会保険費	28,510	23,510	5,000
保健衛生費	2,221	1,142	1,079
合 計	135,765	57,990	77,775

消費税率引上げによる増収分については、社会保障施策に要する経費に充当しています。

〔注〕 地方消費税交付金を充当する主なものは、以下のとおりです。

社会保障の充実経費

- ★ 子ども・子育て支援新制度への対応等
- ★ 低所得者保険料軽減措置の拡充等
- ★ 医療・介護サービスの提供体制の拡充
- ★ 難病・小児慢性特定疾病への対応
- ★ 社会的養護の充実



一般会計歳入・歳出

歳入

(単位:千円)

	7年度当初 A	6年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	7年度 当 初	6年度 当 初
市税	140,001,610	132,321,718	7,679,892	5.8	34.2	34.3
地方譲与税	2,696,000	2,676,000	20,000	0.7	0.7	0.7
利子割交付金	65,000	45,000	20,000	44.4	0.0	0.0
配当割交付金	902,000	769,000	133,000	17.3	0.2	0.2
株式等譲渡所得割交付金	1,417,000	945,000	472,000	49.9	0.3	0.2
分離課税所得割交付金	148,000	147,000	1,000	0.7	0.0	0.0
法人事業税交付金	2,094,000	1,909,000	185,000	9.7	0.5	0.5
地方消費税交付金	18,980,000	18,837,000	143,000	0.8	4.6	4.9
ゴルフ場利用税交付金	100,000	104,000	△ 4,000	△ 3.8	0.0	0.0
環境性能割交付金	457,000	403,000	54,000	13.4	0.1	0.1
軽油引取税交付金	6,000,000	6,120,000	△ 120,000	△ 2.0	1.5	1.6
国有提供施設交付金	57,000	59,000	△ 2,000	△ 3.4	0.0	0.0
地方特例交付金	1,135,000	5,272,000	△ 4,137,000	△ 78.5	0.3	1.4
地方交付税	52,700,000	46,300,000	6,400,000	13.8	12.9	12.0
交通安全対策特別交付金	190,000	177,000	13,000	7.3	0.1	0.1
分担金及び負担金	2,007,013	1,499,794	507,219	33.8	0.5	0.4
使用料及び手数料	6,733,133	6,270,343	462,790	7.4	1.6	1.6
国庫支出金	82,371,168	75,126,058	7,245,110	9.6	20.1	19.5
県支出金	21,504,023	20,970,421	533,602	2.5	5.3	5.4
財産収入	4,123,475	4,054,695	68,780	1.7	1.0	1.1
寄附金	787,180	644,630	142,550	22.1	0.2	0.2
繰入金	12,205,528	9,652,291	2,553,237	26.5	3.0	2.5
諸収入	4,720,313	4,664,240	56,073	1.2	1.2	1.2
市債	47,928,600	46,608,300	1,320,300	2.8	11.7	12.1
合 計	409,323,043	385,575,490	23,747,553	6.2	100.0	100.0

歳出

(単位:千円)

	7年度当初 A	6年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	7年度 当 初	6年度 当 初
議会費	1,217,500	1,142,060	75,440	6.6	0.3	0.3
総務費	49,209,695	41,893,559	7,316,136	17.5	12.0	10.8
民生費	165,276,647	152,408,779	12,867,868	8.4	40.4	39.5
衛生費	30,899,069	28,970,632	1,928,437	6.7	7.5	7.5
労働費	272,390	301,657	△ 29,267	△ 9.7	0.1	0.1
農林水産業費	6,935,240	6,894,210	41,030	0.6	1.7	1.8
商工費	3,301,107	2,977,861	323,246	10.9	0.8	0.8
土木費	47,951,765	47,592,963	358,802	0.8	11.7	12.3
消防費	11,848,536	9,968,000	1,880,536	18.9	2.9	2.6
教育費	59,936,581	59,323,287	613,294	1.0	14.6	15.4
災害復旧費	0	0	0	-	0.0	0.0
公債費	32,274,513	33,902,482	△ 1,627,969	△ 4.8	7.9	8.8
予備費	200,000	200,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	409,323,043	385,575,490	23,747,553	6.2	100.0	100.0

特別会計

(単位:千円)

会 計 別	7年度当初 A	6年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額	増減率(%)
			A-B	(A-B)/B
国民健康保険費	64,569,624	67,148,059	△ 2,578,435	△ 3.8
用品調達費	43,440	45,958	△ 2,518	△ 5.5
災害遺児教育年金事業費	14,400	14,541	△ 141	△ 1.0
公共用地取得事業費	143,671	143,618	53	0.0
財産区費	10,443	8,014	2,429	30.3
学童校外事故共済事業費	12,248	12,978	△ 730	△ 5.6
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	267,606	277,396	△ 9,790	△ 3.5
介護保険費	72,001,145	70,257,201	1,743,944	2.5
後期高齢者医療費	13,002,672	13,086,388	△ 83,716	△ 0.6
公債費	43,580,778	45,107,646	△ 1,526,868	△ 3.4
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,949,936	1,916,572	33,364	1.7
合 計	195,595,963	198,018,371	△ 2,422,408	△ 1.2

事業会計

(単位:千円)

会 計 別	7年度当初 A	6年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額	増減率(%)
			A-B	(A-B)/B
病院事業会計	207,159	198,647	8,512	4.3
水道事業会計	27,789,000	26,262,000	1,527,000	5.8
工業用水道事業会計	373,000	436,000	△ 63,000	△ 14.4
市場事業会計	1,162,057	1,226,176	△ 64,119	△ 5.2
下水道事業会計	49,590,131	48,560,717	1,029,414	2.1
合 計	79,121,347	76,683,540	2,437,807	3.2



予算性質別経費

■ 一般会計

(単位:百万円)

区 分	7年度当初		6年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	85,541	20.9	82,272	21.3	3,269	4.0
	扶助費	107,886	26.4	100,584	26.1	7,302	7.3
	公債費	32,169	7.9	33,819	8.8	△ 1,650	△ 4.9
	計	225,596	55.1	216,675	56.2	8,921	4.1
投資的経費	普通建設事業費	72,901	17.8	64,222	16.7	8,679	13.5
	補助事業費	23,671	5.9	22,556	5.9	1,115	4.9
	単独事業費	47,430	11.6	39,866	10.2	7,564	19.0
	国直轄事業負担金	1,800	0.4	1,800	0.5	0	0.0
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	72,901	17.8	64,222	16.7	8,679	13.5	
その他の経費	物件費	53,059	13.0	49,285	12.8	3,774	7.7
	維持補修費	6,413	1.6	6,015	1.6	398	6.6
	補助費等	21,062	5.1	18,819	4.9	2,243	11.9
	繰出金	28,518	7.0	27,896	7.2	622	2.2
	投資及び出資金	1,187	0.3	2,086	0.5	△ 899	△ 43.1
	その他	587	0.1	577	0.1	10	1.7
計	110,826	27.1	104,678	27.1	6,148	5.9	
合 計	409,323	100.0	385,575	100.0	23,748	6.2	

■ 普通会計

(単位:百万円)

区 分	7年度当初		6年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	85,548	20.8	82,278	21.2	3,270	4.0
	扶助費	107,892	26.2	100,590	26.0	7,302	7.3
	公債費	33,251	8.1	34,824	9.0	△ 1,573	△ 4.5
	計	226,691	55.1	217,692	56.1	8,999	4.1
投資的経費	普通建設事業費	73,001	17.7	64,322	16.6	8,679	13.5
	補助事業費	23,671	5.8	22,556	5.8	1,115	4.9
	単独事業費	47,530	11.5	39,966	10.2	7,564	18.9
	国直轄事業負担金	1,800	0.4	1,800	0.5	0	0.0
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	73,001	17.7	64,322	16.6	8,679	13.5	
その他の経費	物件費	53,062	12.9	49,289	12.7	3,773	7.7
	維持補修費	6,413	1.6	6,015	1.6	398	6.6
	補助費等	21,075	5.1	18,831	4.9	2,244	11.9
	繰出金	28,552	6.9	27,932	7.2	620	2.2
	投資及び出資金	1,187	0.3	2,086	0.5	△ 899	△ 43.1
	その他	1,615	0.4	1,641	0.4	△ 26	△ 1.6
計	111,904	27.2	105,794	27.3	6,110	5.8	
合 計	411,596	100.0	387,808	100.0	23,788	6.1	

基金及び地方債現在高の状況

■ 基金の状況

(単位:百万円)

区 分	5年度末 残 高	6 年 度 中 見 込		6年度末 残高見込	7 年 度 中 見 込		7年度 当初後 残高見込	(参考) 6年度 当初後 残 高
		積立金	取崩額		積立金	当 初 取崩額		
財政調整基金	21,047	5,844	5,000	21,891	46	6,000	15,937	16,132
市債調整基金	1,584	74	—	1,658	88	—	1,746	1,673
公共施設等整備基金	15,761	35	2,000	13,796	35	2,000	11,831	11,823
3基金合計	38,392	5,953	7,000	37,345	169	8,000	29,514	29,628

(注1) 令和6年度の財政調整基金の積立金には、令和5年度決算剰余金の積み立て5,800百万円を含む。

(注2) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

■ 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分	5年度末 残 高	6 年 度 中 見 込		6年度末 残高見込	7 年 度 中 見 込		7年度 当初後 残高見込	(参考) 6年度 当初後 残 高
		元 金 償 還 金	借 入 額		元 金 償 還 金	当 初 借 入 額		
一般会計	(160,506)	(18,668)	(44,944)	(186,782)	(17,975)	(47,929)	(216,736)	(192,638)
	327,930	31,572	50,634	346,992	29,629	47,929	365,292	355,156
特別会計	13,241	1,017	835	13,059	1,099	785	12,745	13,303
小 計	341,171	32,589	51,469	360,051	30,728	48,714	378,037	368,459
事業会計	220,142	18,378	21,757	223,521	17,559	17,655	223,617	224,606
合 計	561,313	50,967	73,226	583,572	48,287	66,369	601,654	593,065
(再掲) 普通会計	(170,363)	(19,486)	(45,779)	(196,656)	(18,880)	(48,714)	(226,490)	(202,755)
	337,786	32,390	51,469	356,865	30,535	48,714	375,044	365,273

(注1) 「6年度中見込」の「借入額」欄は、令和5年度からの繰越事業分を含む。

(注2) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注3) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

